

■令和4年度第1回鹿嶋市総合計画審議会 議事録

1. 開 会

2. あいさつ

3. 委員紹介（委員自己紹介，職員紹介）

4. 議 事

○事務局：一つ目の議事の「会長及び副会長の選任について」に移らせていただきます。「鹿嶋市総合計画審議会規則第4条第2項」の規定により，本審議会の会長及び副会長は，委員の互選により選任することとなっております。どのような方法がよろしいか，皆様にお諮りします。

○委員：（事務局一任）

○事務局：事務局一任の発言がありましたので，事務局案を申し上げます。会長に馬渡委員，副会長に岡本委員を選出したいと思いますが，いかがでしょうか。

○委員：（異議なし）

○事務局：異議なしのご発言がありました。皆様の拍手をもって承認とさせていただきたいと思います。

○委員：（拍手）

○事務局：ありがとうございました。ここで，会長と副会長からご挨拶をいただきたいと思います。

○会長：（あいさつ）

○副会長：（あいさつ）

○事務局：ここからの議事の進行は，本審議会規則第5条第2項の規定により，会長にお願いしたいと存じます。よろしく願いいたします。

○会長：それでは，次第に沿って進めてまいりたいと思います。2つ目の議事である『第四次鹿嶋市総合計画及び総合戦略について』，事務局から説明を求めます。

（事務局より説明）

（質疑）

○会長：はじめに，前後してしましますが，本日の会議は，委員13名のうち，委員12名が出席しておりますので，規則第5条第3項の規定により，本会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

○会長：ただいま説明がありました内容についてご質問等がありましたら，お願いいたします。初めに私の方から，教育委員会から提案のあった事業指標への「国語算数の学力」の追加については，異存はないのですが，その他にも，問題解決能力が重要であると考えます。問題解決能力の向上には，五教科を連動して進めていくというは視点も重要となると思います。

○委員：学校教育でのICTスキルの向上は求められているが，スマートシティの推進のためにも，学生のみならず市民に必要なスキルであると思います。

○会長：当然，学生以外の世代も取り組むべき課題であると認識しております。

○事務局：ICTスキルについては，市民の方々の理解度をあげていかなければならないと考えています。スマートシティ全般では，スマホアプリで便利になっていくと考えておりますので，使えない人に対するサポートも進めていく予定です。

○委員：教育に関わる仕事をしていて，このコロナ禍で，人との関わりに不安を持っている子どもたちもいます。計画全般については，現状の課題からどのようにしていくのかが見えるとよいかなと思

ました。

- 会長：小・中学生も大事だが、鹿嶋市全体の底上げも重要になります。スマホよりもメタバースなど、先進的な取り組みも必要であると考えます。人間関係については、大学でも同じような課題があり、オンライン授業だけでは、難しいところがあります。また、計画を進めるためにはPDCAを実践し、事業を評価することが重要です。評価するにもアウトプット（結果）ではなく、アウトカム（成果）を把握し、因果関係や相関関係を見ていくこと、実践していくことが必要です。
- 事務局：本市でのスマートシティの定義ですが、市全体を最適化することとしております。現状、その目的を達成するためのツールとして多く使われているのがスマホでしたので、ピックアップして説明させていただきました。計画全体については、説明時間の都合上省略させていただきましたが、総合計画の全編の方では、現状分析を行い、課題感を共有したうえで、施策を決めるというプロセスを踏んでおり、委員のおっしゃる通り、進めています。また、総合計画には代表的な事業の指標のみをピックアップして載せており、その他の事業は個別事業計画で定めています。記載がないものはやらないというわけではございません。
- 会長：ほかにいかがでしょうか。
- 委員：私は保育園で働いており、学童保育で子どもと近い距離で接していますが、子どもたちにタブレットが配布され、それをずっと見ています。ICT教育として、タブレット配布は意義があることだと思いますが、子ども本来の外で遊ぶということが奪われているように感じます。フロンティアアドベンチャーもなくなって、日常でそのような体験できるよう機会を大人が作っていく必要があります。
- 会長：クリエイティブな人材育成は大事。学力以外でも「気づき」や「創造」するなど、タフな子どもを育てることが重要かと思います。
- 教育委員会事務局長：コロナで急速にICT授業が進み、ご家庭では心配されている面もあると思います。コロナでフロンティアアドベンチャーも実施できない状況ですが、たくましい鹿嶋っ子の育成にも並行して力を入れていきたいと考えております。
- 委員：フロンティアアドベンチャーを日常に落とし込めないかなとも思っており、そのような遊びができる場を学区にひとつ設けられるようにしてほしいです。
- 委員：郷土図書の貸し出し数をあげるとのことですが、授業でかしまの歴史に触れられれば、自分で本を借りるような流れにもなっていくように思います。鹿嶋でやっている祭など、伝統的なものも学校教育で取り入れていただくとありがたい。地域資源として、アントラーズの全校応援も復活してほしいですが、試合途中で帰るのではなく、すべて見せてあげることで、スポーツのすばらしさも伝わるかなと思います。
- 教育委員会事務局長：かしまの歴史については、4年生から副読本による授業や鹿島神宮・どきどきセンターへの見学などを行っており、お祭りについても各学校にご協力をお願いしております。アントラーズ全校応援についても継続して取り組んでいきたいと考えております。帰る時間についても、担当としては心苦しいところですが、試合時間も考慮して検討していきたいと思います。
- 会長：ほかにございませんでしょうか。ないようでしたら、『第四次鹿嶋市総合計画及び総合戦略について』を終結させていただきます。
- 会長：それでは、最後に『その他』についてでございます。事務局からありますか。
- 事務局：今後、意見のやりとりをするために、電子メールなどを想定しております。アウトカムが出てくるまでのロジックについて、ロジックモデルで説明できるよう準備を行っています。

- 会長：ロジックモデルは、他自治体でもあまり事例の無い先進的な取組なので、期待しています。
(特になし)
- 会長：以上を持ちまして、本日の議事は全て終了しました。ご協力ありがとうございました。それでは、進行を事務局に戻したいと思います。
- 事務局：会長，長時間にわたる議事進行ありがとうございました。最後に，次の第2回総合計画審議会議につきまして，ご連絡致します。第2回会議は令和5年1月26（木），14時00分から開催させていただきます。以上をもちまして，令和4年度第1回鹿嶋市総合計画審議会を閉会させていただきます。本日は，ありがとうございました。